

参 考

第 5 1 回県政に関する世論調査の活用について

この度、平成 2 7 年 1 1 月から 1 2 月にかけて実施した第 5 1 回県政に関する世論調査について、県の諸施策・事業等への主な活用状況をまとめましたので参考までにお知らせします。

(1) 地域リハビリテーションについて (健康福祉部 健康づくり支援課)

各地域における今後の取組の参考とするため、調査結果について関係機関の代表者等で構成する、千葉県地域リハビリテーション協議会において報告したほか、拠点である千葉県リハビリテーション支援センター及び各地域リハビリテーション広域支援センターへも情報提供しました。

また、「地域リハビリテーション」について一層の周知啓発の必要性が分かったことから、地域リハビリテーション推進ロゴマークを作成しました。

さらに、若年者への啓発として平成 2 8 年度から、小学 5 ・ 6 年生を対象とした「地域リハビリテーション出前講座」をモデル的に実施しています。

(2) 人権問題について (健康福祉部 健康福祉政策課)

人権侵害を受けたと感じている人や、人権侵害を受けた時に他者に相談する人が増加していることを受け、啓発資料の中の相談窓口の案内の記載を、より見やすいものとなるよう工夫しました。

また、今後一層啓発すべき人権問題として、障害のある人の人権への関心が高いことから、講演会や研修会等を通じて、重点的に啓発活動を実施することとしました。

さらに、SNS に関する啓発ビデオを更新するなど、新しい人権課題への対応に努めました。

(3) 高齢者が地域で暮らし続けるための施策について (健康福祉部 高齢者福祉課)

介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けるための施策に対するニーズを踏まえ、特別養護老人ホームの整備補助等の取組を強化しました。

また、認知症サポーターや生活支援コーディネーターの養成等を行うことにより、市町村が取り組む地域包括ケアシステムの構築を積極的に支援しました。

(4) 環境保全に関する取組について(環境生活部 循環型社会推進課)

次世代自動車への関心が高いことから、リーフレットの見直しや燃料電池自動車の試乗会を行い、普及促進を図りました。

ボランティア活動等の参加経験の状況を踏まえ、環境基本計画の目標70%に向けて3R推進シンポジウムで学生の取組をテーマとするなど、幅広い世代に意識し参加してもらえるような普及啓発を行いました。

再生可能エネルギー設備の設置意向の状況を踏まえ、太陽光発電等の省エネ住宅の理解促進に向けて、イベント(エコメッセ)でセミナーやクイズ大会を実施しました。

(5) 犯罪のない安全で安心なまちづくりについて(環境生活部 暮らし安全推進課)

犯罪や防犯に関する情報の入手方法について、テレビ・ラジオ等のメディアや広報の割合が高いことから、電話de詐欺撲滅啓発CMの放送、県民だより・市町村広報誌・チラシ等による身近な犯罪に関する具体的な防犯知識や手口の紹介を行うとともに、子どもや女性、高齢者等各世代に応じた啓発品を市町村や警察署を通じて県民に配布することにより、広報啓発の強化に努めました。

(6) 食育について(農林水産部 安全農業推進課)

食生活における「ちば型食生活食事実践ガイドブック(グー・パー食生活ガイドブック)」等の参考度、農林漁業体験への参加経験等が明らかになったことから、第3次千葉県食育推進計画(平成29年度~33年度)において、各世代別の課題に応じたきめ細かな食育や、生産から食卓まで「食のつながり」を意識した食育の推進を施策の方向として位置づけるなど、計画策定の基礎資料として活用しました。